

工事円滑化へ官民が協議

県営繕設備工事関係の質疑回答

質問事項 (協会)	回答 (県)
業者選定が困難。期限(21日)を延長できないか	「福島県元請・下請関係適正化指導要綱」で定められており、現時点で延長は考えていない。正当な理由があれば見込みでの提出可
受注金額500万円以下でも監督員に提出が必要か	監督員は500万円未満でも(提出を)求めることができる。工事監理上、確認が必要な場合がある
10万円未満の下請工事での契約書・請書の提出を省略できないか	要綱には省略の規定がなく、少額でも省略はできない
建設事務所によって10号様式(工事打合せ簿)が違う。標準様式に統一できないか	建築・設備工事共通仕様書(資料編)P104で定められており、標準様式とするよう改めて通知する
着工時に最低限必要な書類の打ち合わせを行い、不要書類をなくせないか	共通仕様書1.1.2に「工事関係図書の簡素化取り組み」の項目がある。工事開始時に監督員と十分に協議確認してほしい
竣工時の写真提出は竣工・工事経過全て提出するのか。また提出方法をデータか紙か統一してほしい	共通仕様書で「施工前・竣工・工事経過」の提出が定められている。「施工前・竣工」は、支払い事務等で確認の必要から紙ベースで提出を求めている。工事経過は選択できるが、必要書類・電子納品について監督員と協議する際に確認してほしい
様式8「検査状況」は、試験結果も提出しなければならない。「検査願」で同じものを提出して二重提出となる必要があるか	共通仕様書1.7.2「工事報告書」では、検査状況(様式8)の提出は求めていない。提出するかは監督員に確認してほしい
書類簡素化で提出様式がなくなったはずだが、設計事務所監理工事で提出を要求される。統一してほしい	設計事務所等の工事監理者に対し、標準の報告書様式等を改めて周知する。なお提出された工事報告書が以前の様式で、現様式での提出を現場代理人に指導している例もある。協力をお願いしたい
県からの見積依頼は2~3週間程度の見積期間を設定しているが、業務委託者等からの依頼は1週間程度の事例が多い	設計委託受託者に対し、適切な見積期間を設定するよう指導する
「施工計画の適正性に対する評価基準」は営繕工事と土木工事(トンネル電気・通信設備)、また建設事務所ごとに異なるのか。記述のポイントなども指導願いたい	対象工事の内容や施工環境、特殊性、特異性に十分配慮した施工計画としてほしい
優秀な人材を継続的に確保し技術・技能を継承したいが、技能者育成に5、6年を要する。建設工事需要が再び減少に転じる懸念が払しょくできず採用に躊躇してしまう。将来的な建設工事の見通しを考慮するに当たり参考となるものを示してほしい	ふくしま統計情報BOXのHPで県の経済動向、ふくしま復興の歩みから建設工事需要が再び減少に転じる懸念が払しょくできず採用に躊躇してしまう。将来的な建設工事の見通しを考慮するに当たり参考となるものを示してほしい
第三者機関による工事監理の場合、質疑等の回答が遅い	監理者に速やかに回答するよう指示する。なお回答に時間を要する場合もあるため、早めの協議をお願いしたい
設計書に詳細なスペックが書いてあり、メーカーの選定に自由度がない場合がある。設計図には最低限のスペックとし、同等以上の機器を複数メーカーから検討できるようにしてほしい	基本的に特定メーカーの指定にならないように図面・仕様書を作成しており、共通仕様書1.5.11に示すよう同等以上であれば、請負者がメーカーや機種を自由に選定できる。メーカー等の図面を参考図として記載することがあるが、この場合も同等以上機種から選定して構わない
震災・オリンピック等で作業員不足の現場が多い。工期に余裕を持って発注してほしい	工期は建築・電気・機械の標準工期に加え、機器の納期や特殊事情を勘案して設定している。関連工事の遅れによる影響や施工中の条件変更、作業員不足による工期延長については、監督員と十分協議してほしい
災害復旧工事の発注が相次ぎ、作業員確保が困難。作業員不足で工期内の工事が困難な場合、工期延長などを考慮してほしい	災害復旧工事の発注が相次ぎ、作業員確保が困難。作業員不足で工期内の工事が困難な場合、工期延長などを考慮してほしい

県との意見交換会



あいさつする坂本会長

県営繕課との意見交換会は十月二十九日、福島市の協会会議室で行われた。県からは新田三男営繕設備担当主幹、県有施設の電気・機械設備整備を担当する佐久間良橋昭一両専門電気技師、後藤正己主任電気技師、木下幸則主査の五人が出席。協会からは坂本会長と大槻博太副会長(福島支部長、技術・安全委員長)、佐藤脩一副会長(会

適切な工期設定など要望

当協会は、施工上の課題や日頃の疑問点を解消して県工事の円滑な促進を図るとともに、会員企業の技術・事務処理のレベルアップなどにつなげようと、十月と十一月に県との意見交換会を開催した。いずれも協会技術・安全委員会の所管事業。十月は坂本幹夫会長はじめ役員と同委員会委員が県営繕課と懇談。十一月には会員企業の現場代理人等が県営繕課・出先事務所の職員と人材育成・確保対策なども含めて意見を出し合った。

津支部長、八巻正隆副会長、相双支部長、石川亘白河支部長、永井博郡山支部長、末永英隆いわき支部長、技術・安全委員会の車田昭、荒川精一郎両副委員長、下山、三瓶良幸、佐藤春幸各委員が出席した。

坂本会長が「復興を最優先に取り組んでいる。現場の課題などについて素直な意見を出し合い、施工に生かしていきたい」とあいさつした。

意見交換は、協会から①下請通知書等②書類関係③見積依頼④総合評価方式⑤技術者不足⑥機器の仕様の工期などについて質問・意見が出され、県がそれに答える形で進められた。このうち「工事打合せ簿の様式が建設事

務所によって異なる」「従前様式の工事報告書の提

設計、現場管理で討論

人材育成確保の問題も

現場代理人等と県監督員

現場代理人等と県監督員との意見交換会は十一月十一日、郡山市のビッグパレットふくしまで開いた。写真、十四年

初めに双方が事前に出した質疑事項に対して代表者が回答。協会からは設計変更や工期延長に伴う請負金額変更に関する疑問や、建築図法

度から実施しているもので、県側は営繕課と出先事務所の電気技師ら十九人、協会側は技術者二十二人が出席した。車田昭副委員長が「活発な意見交換により日ごろの疑問が解消された。今後の業務に役立ててほしい」とあいさつした。

グループ討論も行われた。県協会混在の4グループに分かれ①設計図の不備・現場との不整合が生じた場合の対処方法など、より良い建物をつくるために必要な現場管理・工事監理②若手から見た人材育成・確保の理想と現実をテーマに話し合い、結果を発表した。

出を求められたなどの指摘に対して、県は標準様式とするよう周知する考えを回答。施工中の条件変更、作業員不足などによる工期延長については監督員と十分協議するよう伝えた。

※質問事項と県の回答内容は左表参照

設計、現場管理で討論

人材育成確保の問題も

現場代理人等と県監督員

度から実施しているもので、県側は営繕課と出先事務所の電気技師ら十九人、協会側は技術者二十二人が出席した。車田昭副委員長が「活発な意見交換により日ごろの疑問が解消された。今後の業務に役立ててほしい」とあいさつした。

グループ討論も行われた。県協会混在の4グループに分かれ①設計図の不備・現場との不整合が生じた場合の対処方法など、より良い建物をつくるために必要な現場管理・工事監理②若手から見た人材育成・確保の理想と現実をテーマに話し合い、結果を発表した。



発行所
(一社)福島県電設業協会
発行人 坂本幹夫
〒960-8114
福島市松浪町9-6
(福島県電設会館)
TEL (024) 533-6226
FAX (024) 533-6235
E-mail: info@fukudensetsukyo.or.jp
編集印刷 福島建設工業新聞社
福島市西中央2-59

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

際立つ明るさ
驚きの高効率
T.LEDs

E-CORE
高効率LEDダウンライト [イーコア]

明るさ 265lm
驚きの高効率 50lm/W
抜群の施工性 電圧対応177V

東芝ライテック株式会社
http://www.tli.co.jp/
郡山営業所 TEL (024) 922-5511

Panasonic
ideas for life

LEDの光に、かつてない美しさ。

革新LED
EVERLEDS
エバーレズ

※商品画像はイメージです。

お問い合わせ先…パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 東北電材営業部 福島電材営業所
〒963-8024 福島県郡山市朝日2丁目5-15 TEL.024-939-7731

詳しくはホームページで www2.panasonic.biz/es/everleds/

優秀施工者 北郷さん、遠藤さんを顕彰

現場の模範たたえる

県と県建設産業団体連

合会は十一月十九日、福島市の杉妻会館で優秀施工者顕彰式を行い、建設現場の模範となる十七人をたたえた。当協会が推薦した北郷誠和さん(嵐電気工事)、遠藤正広さん(高柳電設工業)に県建設産業団体連合会長顕彰状が贈られた。



式典には受賞者、県建設産業団体連合会代表らが出席。内堀知事が知事感謝状、小野利廣県建設産業団体連合会長が受賞代表に顕彰状を手渡した。表に顕彰状を手渡した。内堀知事と小野会長があいさつし、建設産業の第一線で顕著な実績を上げられ、後進の育成にも情熱を注いでこられた方々であり、次に続く人たちの鏡となる。引き続き技術・技能に磨きをかけ、本県復興に一層の力添えをお願いしたい」と受賞者をたたえた。

感謝状、酒井純さん(森口電気商会)が県建設産業団体連合会長顕彰状を受

賞した。優秀施工者の顕彰は、建設産業の第一線で「ものづくり」に携わる現場従事者の誇りと意欲を高め、その能力・資質と社会的評価の向上につなげようと県が平成五年度に創設した。表彰は、建設現場で二十年以上にわたり工事施工に直接従事し、顕彰を受けた後もある程度の期間は現役で活躍できる人が中心となるため、原則四十歳以上六十五歳以下が対象。選定基準は①技術・技能が優秀②技術開発・施工の

合理化を図り顕著な成績を上げているか、建設工事に相当の実績がある③後進の指導・育成に努めている④工事の施工で安全・衛生の向上に貢献⑤ほかの建設現場従事者の模範となっている①の全てに該当する者。

優秀論文の発表、現場事例の紹介に続き、最後に大会スローガン「みんなであつなぎ、高まる意識達成しようぜ」を合言葉に、一丸となって労働災害防止に努力することを決意表明した。

著な十社を表彰。引地睦夫福島労働局長と大江孝治県商工労働部政策監があいさつした後、森崎英五朗建設代表取締役社長が「当社の安全管理と題して事例発表した。郡山女子大学教授の小阪康治氏が「なぜ嘘をついてはいけないのかをテーマに講演した。」

安全施工に高い評価 SAFTY2014

大槻電設、会津電気ら表彰



東北地方における公共工事の安全施工の啓発と事故撲滅を目指す「東北地方工事安全施工推進大会(SAFTY2014)」が十一月五日、仙台市の日立システムスポー

ル仙台で開催され、事故防止に積極的に取り組み安全施工に貢献した現場代理人六十六人と、「安全に関する体験・提案」の優秀論文二十四編を表彰した。当協会からは優良企

業(現場代理人)に、大槻電設工業(東西栗子トンネル配電線路改修工事・亀岡誠現場代理人)、会津電気工事(郡山国道管内照明灯更新工事、根本孝則現場代理人)が輝いた。東北地方整備局、東北六県、仙台市、東日本高速道路、東北地域づくり協

業(現場代理人)に、大槻電設工業(東西栗子トンネル配電線路改修工事・亀岡誠現場代理人)、会津電気工事(郡山国道管内照明灯更新工事、根本孝則現場代理人)が輝いた。東北地方整備局、東北六県、仙台市、東日本高速道路、東北地域づくり協

業(現場代理人)に、大槻電設工業(東西栗子トンネル配電線路改修工事・亀岡誠現場代理人)、会津電気工事(郡山国道管内照明灯更新工事、根本孝則現場代理人)が輝いた。東北地方整備局、東北六県、仙台市、東日本高速道路、東北地域づくり協

3支部で社会貢献事業

全会員が生徒受け入れ

勿来工高40人が就業体験

いわき支部のインターンシップ支援事業は十月二十一日から二十三日に、度は電気科二年生四十人が行われ、県立勿来工業高校の生徒が現場見学や作業体験などを通じ、社会人としての心構えなどを学んだ。



受入企業は次の通り。常盤電設産業、大和電気工業、植田電機、三浦電気工事、いわき電気工業、機工事、小松電工、クレハ電機、ジェイ・ケ

会津支部は今年度、県立会津工業高校と県立喜多方桐蔭高校、県立テクノアカデミー会津の3校から計三十四人のインターンシップを受け入れた。

会津工業高校は十月十日から十七日までの三日間、電気科一年生二十二人が富士工業商会、会津電気工事、千葉電機商

受入企業は次の通り。常盤電設産業、大和電気工業、植田電機、三浦電気工事、いわき電気工業、機工事、小松電工、クレハ電機、ジェイ・ケ

常盤電設産業、大和電気工業、植田電機、三浦電気工事、いわき電気工業、機工事、小松電工、クレハ電機、ジェイ・ケ

会津支部は今年度、県立会津工業高校と県立喜多方桐蔭高校、県立テクノアカデミー会津の3校から計三十四人のインターンシップを受け入れた。

会津工業高校は十月十日から十七日までの三日間、電気科一年生二十二人が富士工業商会、会津電気工事、千葉電機商

3校、34人が現場実習

安全教育なども

会津支部は今年度、県立会津工業高校と県立喜多方桐蔭高校、県立テクノアカデミー会津の3校から計三十四人のインターンシップを受け入れた。それぞれが就業体験し、安全教育などを行った。



安全教育を受ける生徒ら。十月二十八日から三十日にかけて実習した。会津電気工事、目黒工業商会、秋生田電設、佐藤電設の四社が受け入れ、各社が施工する現場などを見て回った。

人と環境を明日につなぐ、ニノテックのシステムエンジニアリンク

情報・通信・制御・計装

株式会社ニノテック

NINOTEC 代表取締役社長 樽川 啓

本社/〒963-8577 郡山市島二丁目44-2
TEL (024) 935-1700 FAX (024) 935-1706

拠点/仙台支店・いわき営業所・福島営業所・棚倉出張所

換気扇・照明器・空調機
オール電化・太陽光発電

三菱電機住環境システムズ株式会社

福島支店

〒963-0547 郡山市喜久田町卸1-76-1
TEL(024)959-6060 FAX(024)959-6066

ディーゼル発電機 ガスタービン
ソージェネレーションシステム

ヤンマーエネルギーシステム株式会社

いわき営業所

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一

TEL (0246) 581-5811
TEL (0246) 581-5811
FAX (0246) 581-5811

地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

OKADA

電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

岡田電気産業株式会社

【本社】
〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL (0246) 25-6111 FAX 25-6101

白河/TEL (0248) 27-3385代
須賀川/TEL (0248) 72-7136代
河西/TEL (024) 952-5455代
山南/TEL (024) 923-3298代
山北/TEL (024) 939-3081代
津/TEL (0242) 37-2660代
町原/TEL (0244) 22-5105代
馬場/TEL (0244) 35-1234代
福島東/TEL (024) 546-3700代
福島南/TEL (024) 553-1181代
いわき南/TEL (0246) 28-6111代
勿来/TEL (0246) 62-3122代

山形・茨城・栃木・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟
電材営業所 45ヶ所
住設建材営業所 9ヶ所

評価期間拡大を要望

県総合設備協会

県入札監視委 ヒアリング 発注平準化なども

県入札制度等監視委員による建設関係団体事業者への意見聴取が十二月三日、福島市の杉妻会館で行われた。県総合設備協会から坂本幹夫会長(当協会会長)、松原兼一副会長が出席し、総合評価方式の評価対象期間拡大を要望。不調対策では技術者不足への対応として、専門学校など養成機関の拡充や一層の常駐緩和を求めるとともに①発注の総合的な検討が必要との見解を示した。

②総合評価方式③元請委員に対して意見を述べ坂本会長(前列右)

注時期平準化②労務単価・最低制限価格の引き上げ③工事書類の簡素化④状況に応じた年度への繰越などを要望した。特定建設業許可が必要な下請契約額三千万円以上となる見込みの工事、特定許可を条件明示するよう求めた。

⑦社会保険未加入対策などの項目について、県建設協会などの団体と、個別事業者から聞き取りをした。

建設業従事者の不足という建設産業の構造的な問題に対して、地域建設業の中長期的な担い手確保のため、事業量の計画・安定的な確保と、その見直しを促すことが重要だとの声が相次いだ。人材確保とともに不調対策の観点から、個別事業者を含め各団体が現場実態に即した設計、積算や賃金体系の改善、各発注者間の工事発注平準化、

保のため、事業量の計画・安定的な確保と、その見直しを促すことが重要だとの声が相次いだ。人材確保とともに不調対策の観点から、個別事業者を含め各団体が現場実態に即した設計、積算や賃金体系の改善、各発注者間の工事発注平準化、

の入れ不調対策について、両協会が業界の現状を説明した。佐藤一当協会の発注者が意見を交わした。当協会からは石川巨総務委員長、大内厚専務理事が出席した。

大山正征日本電設工業協会東北支部長、仲江肇東北地方整備局管轄部長があいさつ。意見交換では①一般競争入札における技術者等の資格要件②適正工期の設定と工期延長に伴う経費負担の明確化③分離(直接)発注の促進④若手労働者の育成⑤CPD講習の今後の評価について話し合った。

情報共有し課題解決 若松建設事務所と意見交換

会津支部

会津若松建設事務所と当協会会津支部、県空調衛生工業協会会津支部による建設行政に関する意見交換会Ⅱ写真Ⅱが十一月十八日、会津若松市の全会津電気工事協同組合会館で開かれた。入札不調と作業員不足、労働災害防止など発注者と受注者が抱える諸課題について情報を共有し、解決策を話し合った。

会津若松建設事務所と当協会会津支部、県空調衛生工業協会会津支部による建設行政に関する意見交換会Ⅱ写真Ⅱが十一月十八日、会津若松市の全会津電気工事協同組合会館で開かれた。入札不調と作業員不足、労働災害防止など発注者と受注者が抱える諸課題について情報を共有し、解決策を話し合った。

立地する同社が震災経験を踏まえ、避難所などに設置して携帯機器へ電力を供給できる電源として凸版印刷と開発した。水器のため使用後は容易に廃棄できる。同社経営企画室企画部長の熊谷枝折氏が開発の経緯や特徴などを説明した。

会津若松建設事務所と当協会会津支部、県空調衛生工業協会会津支部による建設行政に関する意見交換会Ⅱ写真Ⅱが十一月十八日、会津若松市の全会津電気工事協同組合会館で開かれた。入札不調と作業員不足、労働災害防止など発注者と受注者が抱える諸課題について情報を共有し、解決策を話し合った。

会津若松建設事務所と当協会会津支部、県空調衛生工業協会会津支部による建設行政に関する意見交換会Ⅱ写真Ⅱが十一月十八日、会津若松市の全会津電気工事協同組合会館で開かれた。入札不調と作業員不足、労働災害防止など発注者と受注者が抱える諸課題について情報を共有し、解決策を話し合った。

古河電池らプレゼン

新製品・新工法セミナー

当協会は建築土木事務所、本、山洋電気、ホクシン所協会らとの共催で十二月六日、会津若松市御商が再生可能エネルギーや団地協同組合アピオス省エネ環境対応など住ペースで新製品・新工法、宅建築や震災からの復旧セミナーを開いた。県建設協会と協賛した。

このうち古河電池は、非常用マグネシウム空気電池「マグボックス」などの製品を紹介した。マグボックスは、いわき市に

古河電池のプレゼンテーション

古河電池は、いわき市に

古河電池のプレゼンテーション

古河電池は、いわき市に

古河電池のプレゼンテーション

古河電池は、いわき市に

協会のうごき

- 【10月】
 - 3日 ● 第2回技術・安全委員会 (ビッグパレットふくしま)
 - 福島県総合設備協会「H26安全大会・技術研修会」(ビッグパレットふくしま)
 - 29日 ● 第2回理事会 (協会)
 - 県営繕課との意見交換会 (協会)
- 【11月】
 - 18日 ● 事前打合せ(県営繕設備担当職員との意見交換会)

編集後記

私事です。先日、生命保険会社が来社し「先進医療特定保険に加入しないか」との勧誘を受けました。掛け捨て型で全額損金算入ができ、五年間払い込みをすれば終身で保証を受けられ、治療費は全額保険でカバーされること。先進医療は厚生労働省が認めた術式に限られ、種類も将来変更があるとのことでした。

日本人で癌ががんの発生源位が多いのは肺・胃・大腸と言われる中、最近先進医療と認められた腸子線治療では、胃や大腸の消化管は対応できない等々知ることができました。

現在先進医療と言われながらも、その術式が一般に普及すれば普通の医療に変わり、保険加入のメリットがなくなります。果たしてこの保険は役に立つものやらうやら。保険に加入するかどうかはまだ決めていませんが、舐めることを考えなければならぬ歳になつてきたものだとつくづく感じる今日この頃です。

追伸、これからMRI・CT等の人間ドックを初めて受診する予定です(広報委員・國津一洋)。

機能アップ

- ブレーカ探査
- ケーブル探査
- 埋設線探査
- 漏電点探査(死線)
- 回路電圧表示

Superラインチェッカ TLC-C形

T.gami 株式会社 戸上電機製作所 東北オフィス
TEL 022-295-5571 FAX022-295-5573

最新鋭 CIM CAD+CAM

配分電盤、制御盤メーカー
品質・環境 ISO 9001
マネジメント ISO 14001 取得

ワム

株式会社 山形電機製作所

本社/〒990-2211 山形市十文字1318-5
TEL023-686-4316代 FAX023-685-1011
北海道千歳工場/〒066-0051 千歳市泉沢1007-72
TEL0123-28-3377 FAX0123-28-3379
支店/東京支店・東北支店・札幌支店
営業所/山形営業所・秋田営業所・岩手営業所・福島営業所

..... ちょっと一服! 豆知識

「バイオマスエネルギー」

バイオマス(生物起源)エネルギーとは、化石資源を除く、動植物由来の有機物で、エネルギー源として利用可能なものを指します。特に植物由来のバイオマスは、生育過程で大気中の二酸化炭素を吸収し成長するため、これらを燃焼させても追加的な二酸化炭素を排出させず、「カーボンニュートラル」なエネルギーとされています。

(出典・エネルギー白書2014)

URL <http://www.towagp.co.jp/>

東和電機工業株式会社

受配電制御システム設計製造
中央監視システム設計
各種プラント制御システム
空調・衛生計装制御盤の設計製造
新エネルギーシステム関連事業
コージェネレーションシステム関連事業
認定キュービクル・耐熱形分電盤設計製造

郡山営業所 所長 白取 隆
〒963-8851 郡山市開成5-18-20
マイシティ開成1F
TEL024-933-3299 fax024-934-5178

Challenge & Creative
TOWA

LED蛍光灯

交通・鉄道信号/駅務機器

地中埋設物探索レーダ

駐車場機器

Ⓝ 日本信号株式会社 東北支店
〒980-6122 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AERビル
TEL (022)261-8371 FAX (022)225-4627

配電盤 制御システムメーカー

FURUKAWA

古川電気工業株式会社
郡山支店

支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ☎ (024) 934-0859
FAX (024) 934-0861

本社/仙台市宮城野区扇町2-1-10
仙台工場/仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所/仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌